

エイゼンシュテイン生誕 110 年・没後 60 年 ロシア映画 100 年 ロシア・ゴスフィルモフوند創立 60 年

# 『戦艦ポチョムキン』 ナイド・イン・ジャパン

2008年12月4日(木)

第1部 16:00開会 第2部 18:30開会

会場 江戸東京博物館ホール  
(東京・両国)



料 金 前売・予約 2000 円

当日 2500 円

(エイゼンシュテイン・シネクラブ会員無料)

※予約は電子メール・電話にて承ります

お問合せ エイゼンシュテイン・シネクラブ  
ino@t.email.ne.jp / 080-5462-2389 (井上)



※駐車場はお使いになれません。電車・地下鉄等での  
ご来場をお願いします。

## 第1部 シンポジウム

### 「エイゼンシュテイン とロシア映画100年」

ゲスト V・ドミトリエフ  
ゴスフィルモフوند (ロシア  
国立映画保存所) 第一副所長

司会 山田和夫

エイゼンシュテイン・シネクラブ  
(日本) 代表・映画評論家

## 第2部 活弁・伴奏付き映画上映

### 『戦艦ポチョムキン』

1925年、ソ連製作  
セルゲイ・エイゼンシュテイン監督

活動弁士 澤登 翠

ピアノ伴奏 柳下美恵

主催 エイゼンシュテイン・シネクラブ (日本)  
<http://eisenstein.jp/>

助成 財団法人セゾン文化財団

協賛 アエロフロート・ロシア航空

後援 国際シネマ・ライブラリー ゴスフィルモフ  
وند (ロシア国立映画保存所) 日本ユーラシア協会

協力 マツダ映画社 ベルモントホテル

# 『戦艦ポチョムキン』ナイド・イン・ジャパン

会場 江戸東京博物館ホール 2008年12月4日(木)



山田和夫  
エイゼンシュテイン・シネクラブ(日本)代表

いま小林多喜二の『蟹工船』が空前のブーム。1953年の山村聡監督による映画化作品も再上映がはじまっています。そして原作を読んだ人も、映画を見た人も、多くの人がそこに『戦艦ポチョムキン』のイメージが躍動していることに気づいたことでしょう。

事実、多喜二は『蟹工船』を書いた1929年、熱烈な映画愛好家で、チャップリンの喜劇や伊藤大輔の時代劇に熱い視線を注ぐとともにその多くが検閲で禁止されたソビエトの革命映画を“幻の名画”として渴望していました。その代表がエイゼンシュテインの『戦艦ポチョムキン』。「日本映画にも『戦艦ポチョムキン』を！」というアピールも書いています。その小説の映画化作品に『ポチョムキン』のイメージを見ることは必然です。

もし多喜二が80年前に『ポチョムキン』を日本で見られたとしたら……？ その楽しい空想のなかから、今回の『戦艦ポチョムキン』Made In Japan～活弁と伴奏つき～のタベの企画が生まれました。

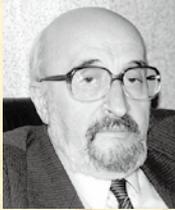
澤登翠さんの日本的伝統を継ぐ『活弁』と、いまサイレント映画の伴奏に尽力する柳下美恵さんのピアノに、ロシアからのゲストの講演を加え、『蟹工船』で甦る小林多喜二とともに、世界映画最高の古典『戦艦ポチョムキン』の感動を共有しましょう。

セルゲイ・エイゼンシュテイン  
(1898.1.22 ~ 1948.2.11)  
ソビエト連邦(現ロシア)の映画監督。『戦艦ポチョムキン』や『イワン雷帝』など世界映画史上のベストテンに入る古典的をつくり、映画芸術の基礎理論づくりにも貢献した。

第1部 シンポジウム 16:00 開会

## ウラジーミル・ドミトリエフ

ロシア・ゴスフィルモフォンド(ロシア国立映画保存所)第一副所長



映画研究者。ロシアを代表するアーキヴィスト(映画保存の専門家)として世界的に知られ、モスクワ国際映画祭のプログラムディレクターなどを務める。1940年、モスクワ生まれ。1962年、全ソ国立映画大学(VGIK)映画研究学部卒業後、ゴスフィルモフォンドに勤務。1996年より現職。

第2部 活弁・伴奏付き上映 18:30 開会



さわと みどり  
澤登 翠 活動弁士

故松田春翠門下。「伝統話芸・活弁」の継承者として“活弁”を現代のエンタテインメントとして甦らせ、全国各地の上映会や映画祭への出演に加え、海外でも多数の講演を行う。日本映画ペンクラブ賞、文化庁芸術最優秀賞ほか数々の賞を受賞。これまでに手がけた映画は500本を超える。著書に『活動弁士 世界を駆ける』



やなした みえ  
柳下美恵 無声映画伴奏者

欧米スタイルのピアノ伴奏で見せるサイレント映画上映会で活躍中。武蔵野音楽大学器楽科卒業後、会社勤務を経て、1995年、朝日新聞社の映画生誕100年祭記念上映会でデビュー。以来、国内外で公演し、手掛けた作品は400本近く。2006年度日本映画ペンクラブ奨励賞受賞。

## 『戦艦ポチョムキン』とは？

日露戦争のさなかの1905年、旅順会戦での敗北で政府の権威が失墜したロシアで、革命的情勢が広まった(第1次ロシア革命)。そのさなか、ヨーロッパのバルト海に配備されたバルト(バルチック)艦隊が、はるばる日本海まで出陣し、全滅。この敗戦の報を聞いてロシア国民は驚愕し、軍隊にも動揺が広がる。黒海艦隊の戦艦ポチョムキン号の水兵たちが蜂起し、船の主導権を奪い、黒海沿岸で最大の貿易港オデッサに向かった。オデッサの市民たちは戦艦ポチョムキン号を歓迎したが、政権転覆を恐れる権力者たちは、コサック部隊による弾圧を始めた……。

ソ連で映画監督としてデビューしたばかりのエイゼンシュテインは、1905年革命20周年の記念映画をまかされた。いくつかのエピソードを撮る計画を立て、その中からまず戦艦ポチョムキンの場面から撮影にとりかかる。すると、構想はふくらみ、それだけの1本の作品となってしまった。そして1925年12月24日、映画『戦艦ポチョムキン』は、80年以上にわたる長い航海に乗り出した――。

## 日本に来た『戦艦ポチョムキン』

モスクワで1925年末にお披露目された『戦艦ポチョムキン』は、1926年にはソ連での一般公開、ドイツなど外国での公開が始まった。映画は日本にも来て、横浜税関で通関前の保税試写が行われた。これは、輸入を許可するかどうかの検閲の場でもあり、専門家の立場からの意見を述べるため、映画人たちも数人参加した。無声映画の時代から活躍した時代劇映画の巨匠・伊藤大輔も、その場に入ったという。『戦艦ポチョムキン』の遺伝子は、ここで日本映画にも埋め込まれたのだ。また、ソ連で発行された映画の教科書は、戦前から盛んに翻訳されていたが、こうした文字情報を通じて、『戦艦ポチョムキン』は大きな影響を及ぼした。

戦後になっても、『戦艦ポチョムキン』の輸入はなかなか許可されなかったが、どうしてもこの作品を見たいという人びとの自主上映運動の結果、ついに1959年、日本での上映が実現した。

**B BELMONT HOTEL**  
ベルモントホテル

〒111-0052 東京都台東区柳橋 1-2-8  
TEL : 03-3864-7733  
FAX : 03-3864-7732  
<http://www.belmont-hotel.co.jp/>

### ■エイゼンシュテイン・シネクラブ(日本)とは――

ソ連の映画監督エイゼンシュテインは、その作品で世界のいたるところで映画ファンを魅了するだけでなく、日本をはじめ各国の映画人に、今もなお多大な影響を与え続けています。また、彼が展開した芸術理論は、映画という枠組みを超えて注目に値するものです。そして現在、国際的な交流のもとに、エイゼンシュテインの全体像にせまる総合的な研究が進められています。

エイゼンシュテイン・シネクラブ(日本) Eisenstein Cine-Club Japan は、その業績と全体像とを理解するとともに、さらに多くの人びとに知っていただくことを目的として、1990年2月に創立されました。現在、月例例会を中心に、ニュース・機関紙などの発行、映画関連イベントの企画、国際交流など、エイゼンシュテインを出発点として幅広く活動しています。

●公式サイト <http://eisenstein.jp/>

代表/山田和夫 副代表/井上 徹 顧問/岡田正代 神山征二郎  
新藤兼人 高野悦子 高畑 勲 辻井 喬 山田洋次  
名誉顧問 ナウム・クレイマン(ロシア国立中央映画博物館館長)  
ユーリー・ノルシュテイン(アニメーション監督)  
アレクサンドル・ソクーロフ(映画監督)  
マルセル・マルタン(映画史家)  
ウラジーミル・ドミトリエフ(ゴスフィルモフォンド第一副所長)

■入会方法 ご入会は例会などで随時受け付けています。  
入会金無料、年会費 一般会員＝1万円 通信会員＝6,000円  
詳細は下記宛お問合せいただくか、公式サイトをご覧ください。  
〒161-0034 東京都新宿区上落合 3-33-15 山田和夫  
電話 (03)3369-7444 FAX (03)3363-5519 Email [eisenstein@mc.newweb.ne.jp](mailto:eisenstein@mc.newweb.ne.jp)

# 信頼と快適さで全世界をネットワーク

アエロフロート・ロシア航空ではロシアの主要都市、CIS、中近東、ヨーロッパの各都市へその日のうちに接続できる便利なトランジット便をご用意しております。



週 **7** 便 運航

東京 → モスクワ → 東京  
13:00 発 → 17:25 着 19:20 発 → 10:55+1 着

時間はすべて現地時間で表記

## 特別キャンペーン アエロフロート・ボーナス

- キャンペーン期間：2008年11月19日～2008年12月19日
- 対象路線：東京～モスクワ モスクワ～東京
- 加算ボーナスマイル：エコノミークラス-2000マイル  
ビジネスクラス-4000マイル

左記のキャンペーン期間中、アエロフロート・ロシア航空定期便でモスクワ～東京間または東京～モスクワ間をご利用のアエロフロート・ボーナス会員の皆さまにボーナスポイント(※)をプレゼントします。この機会にぜひご利用ください。  
※ボーナスポイントはNon-Qualifying Milesとして加算されます。

アエロフロート・ロシア航空 ☎03-5532-8701

japan.aeroflot.aero www.skyteam.com

オンラインブックイング www.aeroflot.ru

●成田空港チェックインカウンター／第1ターミナル北ウイング